

保育者の作法

園の雰囲気は、保育者一人ひとりの言動や立ち振る舞いによってつくれる、それが園の文化になっていきます。

よりよい園の文化、保育の向上につながる作法とは？
現場に詳しい先生方に話し合っていた（コーナーです。



井上さく子先生
元公立保育園園長
保育環境アドバイザー



岩井久美子先生
私立保育園園長
六本木園長



汐見和恵先生
フリーランス
西が丘ひまわり園園長

今月のシーン

お見舞い

Q. 子どもが入院したという連絡を保護者から受けました。お見舞いはどうしたらよいですか。



キホンの作法

保護者の了解を得たうえで、相手の負担にならないようなお見舞い。

短期間ではなく、ある程度、長期にわたる入院や自宅療養の知らせを受けた場合は、病气やけがの内容や状態を確認し、園としてお見舞いに行くかどうか検討します。そのうえで、保護者の了解を得てから行うようにしましょう。お見舞いは、相手の負担にならないように人数は最小にとめます。「みんな待つているよ」「お大事に」などと伝え、時間も短く切り上げます。

なお、公立園では、見舞金や品物を持参することは禁じられています。子どもの年齢にもよりますが、クラスの子どもたちからの絵や手紙などを渡すと、子どものおまじないになるかもしれません。

私たちの考える作法

必ず園長や看護師につなぐ

Point ① 病气やけがの連絡を受けた時の対応を確認しておきましょう

●職員が電話などで園児の病欠連絡を受けた時、1〜2日で治る程度の病气やけがではない場合は、必ず園長や看護師につなぐよう指導しています。不在の場合も「園長は留守にしておりますので、後からお電話をさせていただきます」と伝えるようにしています。
（岩井先生）

●きょうだいが在園しているなどの場合は、送迎時に園長が立ち合っている、直接保護者から話を聞いています。（井上先生）

1人で判断せず園として考える

Point ② 知り得た情報は自分だけに止めず、園全体で共有します

●お見舞いに行く、行かないは場合によりますが、担任だけでなく園長や主任と相談して、だれがいつ行くかなどを決めるようにします。（汐見先生）

●子どもではなく保護者が長期入院した時、園としてお見舞いに行つたことがありません。事情に合ったことがありますが、園全体で情報を共有することが大切です。（井上先生）

不用意に保護者や子どもに伝えない

Point ③ 病气やけがは個人情報として保護者扱いが求められます

●園から「〇〇ちゃんが入院した」などとはかの保護者や子どもに伝えることは原則しませんが、病气やけがが深刻である場合は、保護者に伝えてよいのか、どう伝えるのかなどを聞き、確認をとってからにします。

子どもに「〇〇ちゃんはどうしてお休みのの？」などと聞かれた時は、心配している気持ちを大切に受け止め、「早く園に来るといいね。」などと言っています。（汐見先生）